

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月6日

上場会社名 株式会社ジーエス・ユアサ コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6674 URL <https://www.gs-yuasa.com/jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 CEO (氏名) 村尾 修
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート室 部長 (氏名) 松島 弘明 TEL 075-312-1211
 四半期報告書提出予定日 2019年11月6日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	190,414	△2.6	7,549	8.5	8,424	12.4	4,774	38.2
2019年3月期第2四半期	195,415	6.1	6,956	16.2	7,492	16.2	3,454	35.5

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 540百万円（△90.8%） 2019年3月期第2四半期 5,888百万円（△10.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	58.63	—
2019年3月期第2四半期	42.02	39.12

（参考）のれん等償却前営業利益 2020年3月期第2四半期 8,678百万円（5.3%） 2019年3月期第2四半期 8,239百万円（16.6%）

当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

2018年10月1日付で5株を1株に株式併合しております。これに伴い、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出しております。

当第2四半期連結累計期間の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	383,913	202,220	45.2
2019年3月期	384,243	207,708	46.4

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 173,702百万円 2019年3月期 178,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	3.00	—	35.00	—
2020年3月期	—	15.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	35.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年3月期につきましては、株式併合を反映した1株当たり期末配当金を記載し、年間配当金の合計は「—」として記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	415,000	0.5	20,000	△11.7	22,000	△11.0	12,000	△11.3	147.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	82,714,942株	2019年3月期	82,714,942株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,579,096株	2019年3月期	880,229株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	81,427,943株	2019年3月期2Q	82,197,062株

2018年10月1日付で5株を1株に株式併合しております。「期中平均株式数（四半期累計）」につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(追加情報)	12
3. 補足情報	13
(1) 四半期損益の推移	13
(2) 2020年3月期 第2四半期連結決算の概要	14

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定であります。

・2019年11月19日（火）……………機関投資家・アナリスト向け第2四半期決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般の動向

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては雇用および所得環境が良好であり個人消費は堅調に推移しましたが、中国は米国との通商問題などを背景に景気は減速傾向となりました。また、欧州においては雇用環境が改善傾向にあり個人消費は堅調に推移したものの、Brexitをめぐる先行き不透明な状況が依然として続いております。一方、わが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続したものの、世界経済の減速懸念から景気の先行きは不透明な状況にあります。

このような経済状況の中、当社グループでは、主として自動車電池事業における鉛価格の下落に伴う販売価格の低下や円高の影響などにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,904億14百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて50億円減少(△2.6%)しました。一方、営業利益は、電源装置の販売が好調に推移したことに加え鉛価格の下落の影響などにより75億49百万円(のれん等償却前営業利益は86億78百万円)と前第2四半期連結累計期間に比べて5億92百万円増加(8.5%)し、経常利益も84億24百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて9億32百万円増加(12.4%)しました。これに伴い親会社株主に帰属する四半期純利益も、47億74百万円(のれん等償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は59億2百万円)と前第2四半期連結累計期間に比べて13億19百万円増加(38.2%)しました。

②報告セグメント別の動向

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(自動車電池)

国内における売上高は、新車用および補修用の販売数量はともに堅調に推移したものの鉛価格の下落に伴う販売価格の低下の影響により、408億91百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて5億28百万円減少(△1.3%)しました。セグメント損益(のれん等償却前)は、上記販売価格の低下や経費増加により、20億80百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて5億80百万円減少(△21.8%)しました。

海外における売上高は、中国において市況悪化に伴い厳しい状況が続いたことや円高の影響などもあり、817億28百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて57億56百万円減少(△6.6%)しました。セグメント損益は、売上高は減少しましたが鉛価格の下落の影響などにより、49億20百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて2億51百万円増加(5.4%)しました。

これにより、国内・海外合算における売上高は、1,226億20百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて62億85百万円減少(△4.9%)しました。セグメント損益(のれん等償却前)は、70億円と前第2四半期連結累計期間に比べて3億29百万円減少(△4.5%)しました。

(産業電池電源)

売上高は、主として電源装置の販売が好調に推移したことにより376億21百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて32億66百万円増加(9.5%)しました。セグメント損益は、売上高増加の影響に加え、鉛価格の下落の影響などにより、23億22百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて15億66百万円増加(207.3%)しました。

(車載用リチウムイオン電池)

売上高は、主として電気自動車用リチウムイオン電池の販売が減少したことにより、213億97百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて6億18百万円減少(△2.8%)しました。セグメント損益は、売上高減少の影響に加えて12Vリチウムイオン電池事業立上げに伴う費用増加により、7億33百万円の損失と前第2四半期連結累計期間に比べて4億42百万円悪化しました。

(その他)

売上高は、87億75百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて13億62百万円減少(△13.4%)しました。全社費用等調整後のセグメント損益は、売上高減少の影響などにより89百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて3億55百万円減少(△79.8%)しました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、海外子会社におけるIFRS第16号「リース」の適用による使用権資産等の増加があったものの、売上債権の回収が進んだこと、固定資産の減価償却、保有株式の時価下落による減少などにより、3,839億13百万円と前連結会計年度末に比べて3億30百万円減少しました。

負債は、仕入債務等が減少したものの、海外子会社におけるIFRS第16号「リース」の適用によるリース債務の増加、産業電池電源における大型案件の受注に伴う前受金の受領により、1,816億92百万円と前連結会計年度末に比べて51億57百万円増加しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加がありましたが、配当金の支払や自己株式の取得、為替レートの変動による為替換算調整勘定の減少、株価下落に伴うその他有価証券評価差額金の減少などにより、2,022億20百万円と前連結会計年度末に比べて54億88百万円減少しました。

【キャッシュ・フローの状況】

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は246億56百万円と前連結会計年度末に比べて12億47百万円増加(5.3%)しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払がありましたが、税金等調整前四半期純利益や減価償却費、売上債権の回収や産業電池電源における大型案件の受注に伴う前受金の受領などにより、150億55百万円のプラス(前年同期は101億93百万円のプラス)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得などにより、86億12百万円のマイナス(前年同期は88億69百万円のマイナス)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加がありましたが、自己株式の取得や配当金の支払などにより、51億55百万円のマイナス(前年同期は16億31百万円のプラス)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月13日に公表いたしました連結業績予想を修正しました。詳細については、2019年10月29日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2019年3月31日	当第2四半期連結会計期間 2019年9月30日
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,618	24,785
受取手形及び売掛金	70,225	64,696
電子記録債権	4,168	6,445
商品及び製品	37,069	37,818
仕掛品	16,869	16,242
原材料及び貯蔵品	13,888	13,930
その他	10,467	9,241
貸倒引当金	△316	△295
流動資産合計	175,990	172,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	54,759	52,879
機械装置及び運搬具（純額）	33,383	30,717
土地	22,406	22,209
リース資産（純額）	646	554
使用権資産（純額）	—	4,677
建設仮勘定	8,450	12,381
その他（純額）	4,555	4,422
有形固定資産合計	124,202	127,843
無形固定資産		
のれん	3,347	2,671
リース資産	1,098	1,087
その他	5,911	3,663
無形固定資産合計	10,357	7,422
投資その他の資産		
投資有価証券	56,062	53,458
退職給付に係る資産	11,668	13,365
繰延税金資産	2,502	2,699
リース債権	—	2,505
その他	3,714	4,018
貸倒引当金	△332	△337
投資その他の資産合計	73,614	75,710
固定資産合計	208,174	210,976
繰延資産	78	71
資産合計	384,243	383,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2019年3月31日	当第2四半期連結会計期間 2019年9月30日
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,160	34,848
電子記録債務	17,115	14,798
短期借入金	9,905	9,344
コマーシャル・ペーパー	3,000	4,500
未払金	10,823	9,324
未払法人税等	3,247	2,213
設備関係支払手形	1,036	236
その他	16,450	21,519
流動負債合計	96,739	96,785
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	34,034	33,449
リース債務	1,239	5,937
繰延税金負債	12,067	11,450
再評価に係る繰延税金負債	928	928
退職給付に係る負債	4,274	4,323
その他	7,252	8,817
固定負債合計	79,796	84,907
負債合計	176,535	181,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,021	33,021
資本剰余金	55,313	55,313
利益剰余金	77,664	79,542
自己株式	△2,315	△3,691
株主資本合計	163,684	164,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,879	13,807
繰延ヘッジ損益	△81	△33
土地再評価差額金	2,137	2,137
為替換算調整勘定	△488	△4,673
退職給付に係る調整累計額	△1,809	△1,721
その他の包括利益累計額合計	14,635	9,516
非支配株主持分	29,388	28,517
純資産合計	207,708	202,220
負債純資産合計	384,243	383,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日
売上高	195,415	190,414
売上原価	153,437	147,599
売上総利益	41,977	42,815
販売費及び一般管理費	35,021	35,266
営業利益	6,956	7,549
営業外収益		
受取利息及び配当金	428	468
持分法による投資利益	995	1,471
その他	349	255
営業外収益合計	1,774	2,195
営業外費用		
支払利息	350	387
為替差損	389	488
その他	497	442
営業外費用合計	1,237	1,319
経常利益	7,492	8,424
特別利益		
固定資産売却益	214	2,213
投資有価証券売却益	8	14
その他	18	27
特別利益合計	242	2,255
特別損失		
固定資産除却損	239	235
固定資産売却損	31	51
関係会社整理損	—	1,400
その他	11	97
特別損失合計	281	1,784
税金等調整前四半期純利益	7,453	8,895
法人税等	2,663	2,751
四半期純利益	4,790	6,144
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,335	1,369
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,454	4,774

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日
四半期純利益	4,790	6,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,083	△1,066
繰延ヘッジ損益	△37	0
為替換算調整勘定	785	△3,117
退職給付に係る調整額	△312	87
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,420	△1,508
その他の包括利益合計	1,098	△5,603
四半期包括利益	5,888	540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,458	△345
非支配株主に係る四半期包括利益	1,430	886

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,453	8,895
減価償却費	8,582	8,722
のれん償却額	829	676
投資有価証券売却損益(△は益)	△8	△14
関係会社整理損	—	1,400
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△176	△0
退職給付に係る資産負債の増減額	△1,884	△1,488
受取利息及び受取配当金	△428	△468
支払利息	350	387
為替差損益(△は益)	114	△53
固定資産売却損益(△は益)	△183	△2,162
固定資産除却損	239	235
持分法による投資損益(△は益)	△995	△1,471
売上債権の増減額(△は増加)	11,052	1,500
前受金の増減額(△は減少)	△1,545	6,503
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,170	△3,576
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,800	△333
その他	2,634	554
小計	15,064	19,306
利息及び配当金の受取額	720	723
利息の支払額	△344	△387
法人税等の支払額	△5,247	△4,586
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,193	15,055
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,449	△10,628
有形固定資産の売却による収入	350	2,409
無形固定資産の取得による支出	△107	△35
投資有価証券の取得による支出	—	△2
投資有価証券の売却による収入	602	35
子会社株式の取得による支出	△2,811	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△582
貸付金の回収による収入	53	136
その他	493	55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,869	△8,612

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△3,207	437
長期借入れによる収入	12,696	1,548
長期借入金の返済による支出	△3,536	△848
自己株式の取得による支出	△3	△1,380
自己株式の処分による収入	3	4
配当金の支払額	△2,878	△2,865
非支配株主への配当金の支払額	△1,316	△1,463
その他	△125	△587
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,631	△5,155
現金及び現金同等物に係る換算差額	275	△252
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,230	1,036
現金及び現金同等物の期首残高	19,776	23,408
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額	1,093	—
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	24	211
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,124	24,656

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は2019年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式700,000株の取得を行っております。これを含む自己株式の取得及び処分の結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が1,375百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が3,691百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間からIFRS第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という。)を適用しております。

これにより、借手のリース取引については、原則として、使用権資産及びリース債務として認識しております。また、貸手のリース(サブリース)については、原資産の使用に伴うリスクと経済価値のほとんどすべてを移転する場合には、ファイナンス・リースとして、原資産の認識を中止し、正味リース投資未回収額をリース債権として認識しております。

その結果、当第2四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「使用権資産(純額)」が4,677百万円、流動負債の「その他」が968百万円及び固定負債の「リース債務」が4,793百万円増加しており、正味リース投資未回収額として流動資産の「その他」が242百万円及び固定資産の「リース債権」が2,505百万円増加しております。また、土地使用権1,609百万円は「使用権資産(純額)」に振替えております。なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置で認められている、適用開始による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。使用権資産の測定方法はリース債務の測定額に前払及び未払リース料を調整する方法を採用しており、期首利益剰余金への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	41,420	87,485	128,905	34,355	22,016	185,277	10,138	195,415
セグメント間の内部 売上高又は振替高	699	2,043	2,742	5,798	417	8,959	△8,959	—
計	42,119	89,528	131,648	40,154	22,433	194,236	1,178	195,415
セグメント利益又は損失 (△)	2,661	4,668	7,329	755	△291	7,794	445	8,239

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△772百万円であり、セグメント間取引消去△261百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△510百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 上表のセグメント利益の合計額と連結損益計算書上の営業利益6,956百万円との差は、のれん等の償却費1,283百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	40,891	81,728	122,620	37,621	21,397	181,639	8,775	190,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	663	2,060	2,724	5,841	413	8,979	△8,979	—
計	41,555	83,789	125,344	43,463	21,811	190,619	△204	190,414
セグメント利益又は損失 (△)	2,080	4,920	7,000	2,322	△733	8,588	89	8,678

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△1,122百万円であり、セグメント間取引消去△615百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△506百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 上表のセグメント利益の合計額と連結損益計算書上の営業利益7,549百万円との差は、のれん等の償却費1,129百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、製品を軸としたセグメント業績をより適切に把握するために、組織の管理区分の見直しを行った結果、従来「自動車電池海外」に含まれていた一部の連結子会社等について、「産業電池電源」にセグメントを変更しております。

前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントにより記載しております。

(追加情報)

(連結の範囲の重要な変更)

当第2四半期連結会計期間より、重要性が増したSiam GS Battery Myanmar Limitedを連結の範囲に含めております。

3. 補足情報

(1) 四半期損益の推移

2020年3月期(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2019/4-6)	②第2四半期 (2019/7-9)	③第3四半期 (2019/10-12)	④第4四半期 (2020/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	90,082	100,331	—	—	190,414	—	—
営業利益	2,040	5,508	—	—	7,549	—	—
経常利益	2,873	5,551	—	—	8,424	—	—
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,473	3,300	—	—	4,774	—	—

2019年3月期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2018/4-6)	②第2四半期 (2018/7-9)	③第3四半期 (2018/10-12)	④第4四半期 (2019/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	96,256	99,158	110,230	107,442	195,415	305,646	413,089
営業利益	2,917	4,038	7,358	8,339	6,956	14,315	22,654
経常利益	3,165	4,327	8,308	8,927	7,492	15,800	24,728
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,430	2,023	6,636	3,433	3,454	10,090	13,524

2018年3月期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2017/4-6)	②第2四半期 (2017/7-9)	③第3四半期 (2017/10-12)	④第4四半期 (2018/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	87,805	96,402	112,776	113,966	184,208	296,984	410,951
営業利益	2,876	3,109	7,734	8,198	5,986	13,721	21,920
経常利益	3,273	3,174	7,763	7,176	6,447	14,210	21,387
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,254	1,295	3,668	5,231	2,549	6,218	11,449

2017年3月期(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2016/4-6)	②第2四半期 (2016/7-9)	③第3四半期 (2016/10-12)	④第4四半期 (2017/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	75,364	83,535	95,428	105,277	158,899	254,328	359,605
営業利益	2,988	4,184	7,501	8,431	7,173	14,674	23,106
経常利益	2,875	3,774	8,007	7,887	6,650	14,657	22,545
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,840	2,271	4,460	3,656	4,111	8,572	12,229

2016年3月期(自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2015/4-6)	②第2四半期 (2015/7-9)	③第3四半期 (2015/10-12)	④第4四半期 (2016/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	81,642	89,507	94,159	100,301	171,149	265,308	365,610
営業利益	3,109	3,705	7,338	7,756	6,814	14,153	21,909
経常利益	3,044	4,004	7,220	7,146	7,049	14,269	21,416
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	951	2,665	3,010	2,402	3,616	6,627	9,030

(2)2020年3月期 第2四半期連結決算の概要

行番			第2四半期連結累計期間			増減 ② - ①	通期		
			2017年 9月期	2018年 9月期 ①	2019年 9月期 ②		2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期 (予想)
1	売上高	百万円	184,208	195,415	190,414	△ 5,000	410,951	413,089	415,000
2	自動車電池国内	百万円	39,307	41,420	40,891	△ 528	89,240	91,460	90,000
3	自動車電池海外	百万円	87,683	87,485	81,728	△ 5,756	185,574	177,052	173,000
4	産業電池電源	百万円	30,526	34,355	37,621	3,266	74,237	80,042	87,000
5	車載用リチウムイオン電池	百万円	19,606	22,016	21,397	△ 618	44,784	45,585	47,000
6	その他	百万円	7,084	10,138	8,775	△ 1,362	17,113	18,947	18,000
7	営業利益	百万円	5,986	6,956	7,549	592	21,920	22,654	20,000
8	のれん等償却前営業利益	百万円	7,064	8,239	8,678	439	24,076	25,066	22,000
9	自動車電池国内	百万円	2,040	2,661	2,080	△ 580	6,143	7,766	5,500
10	自動車電池海外	百万円	3,799	4,668	4,920	251	8,960	9,926	9,000
11	産業電池電源	百万円	1,091	755	2,322	1,566	7,364	7,827	8,500
12	車載用リチウムイオン電池	百万円	225	△ 291	△ 733	△ 442	1,320	300	△ 1,000
13	その他	百万円	△ 91	445	89	△ 355	287	△ 754	—
14	経常利益	百万円	6,447	7,492	8,424	932	21,387	24,728	22,000
15	親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	百万円	2,549	3,454	4,774	1,319	11,449	13,524	12,000
16	のれん等償却前親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	百万円	3,717	4,760	5,902	1,141	13,894	15,974	14,500
17	1株当たり四半期(当期)純利益	円	30.89	42.02	58.63	16.61	138.90	164.74	147.37
18	1株当たり中間(年間)配当額	円	3.00	3.00	15.00	—	10.00	—	50.00
19	自己株式買入額(次年度予定額)	百万円	—	—	—	—	921	1,500	—
20	設備投資	百万円	5,507	8,053	8,638	585	15,223	21,461	27,000
21	減価償却費	百万円	8,223	7,744	7,879	134	16,506	16,115	18,000
22	研究開発費	百万円	4,840	4,390	4,782	392	11,170	9,868	11,000
23	営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	3,985	10,193	15,055	4,862	21,934	31,493	—
24	投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 13,681	△ 8,869	△ 8,612	257	△ 20,810	△ 17,570	—
25	財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	8,021	1,631	△ 5,155	△ 6,786	△ 6,702	△ 11,706	—
26	現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	百万円	22,826	24,124	24,656	★ 1,247	19,776	23,408	—
27	総資産	百万円	374,713	384,039	383,913	★ △ 330	389,216	384,243	—
28	純資産	百万円	191,022	202,966	202,220	★ △ 5,488	205,638	207,708	—
29	借入金総額	百万円	86,693	78,712	67,294	★ 354	75,153	66,940	—
30	自己資本比率	%	43.8	45.7	45.2	★ △ 1.2	45.2	46.4	—
31	自己資本当期純利益率(のれん等償却前純利益)	%	—	—	—	—	8.2	9.0	—
32	1株当たり純資産	円	1,986.85	2,136.56	2,140.89	★ △ 38.14	2,138.45	2,179.03	—
33	海外売上高比率	%	51.6	52.2	49.1	★ △ 0.3	49.9	49.4	—
34	グループ期末従業員数	人	14,857	14,275	14,417	★ 200	14,585	14,217	—
35	連結子会社数	社	55	55	54	★ —	56	54	—
36	国内	社	22	22	22	★ —	22	22	—
37	海外	社	33	33	32	★ —	34	32	—

★は対前期末(2019年3月期)増減

(注) 2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2017年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり四半期(当期)純利益」及び「1株当たり純資産」を算定しております。また、2019年3月期の「1株当たり中間(年間)配当額」につきましては、「—」として記載しております。